

「ちばエコ農産物」栽培のために！
 (品目別栽培カード 23)



非結球レタス(リーフレタス)

千葉県農林水産部

1 栽培基準

「ちばエコ農産物」の非結球レタスの栽培基準は、化学合成農薬の使用成分回数7回以下、化学肥料使用量(窒素分量)12.5kg/10a以下です。周年を通じて同じ栽培基準です。また、堆肥は、その原料ごとに施用の目安量があります(表1)。

この栽培カードでは、非結球レタスのうち、本県で最も多く栽培されているリーフレタス冬どり栽培を取り上げました。なお、農薬登録における非結球レタスとは、かきちしゃ(サンチュ、チマサンチュ)、サラダ菜(バターヘッド型レタス、バターヘッド型たまちしゃ)、立ちちしゃ(ロメインレタス)、リーフレタス(葉ちしゃ、チリメンチシャ、サニーレタス、シルクレタス、フリルレタス)を指します。



▲収穫間近のリーフレタス

表1 非結球レタスの「ちばエコ農産物」栽培基準

(平成21年4月現在)

上 限 量		堆肥目安量(kg/10a)			
化学合成農薬使用回数 (使用成分×回数)	化学肥料使用量 (窒素分量kg/10a)	牛ふん	豚ふん	鶏ふん	土づくり 的堆肥
7	12.5	2,300	900	500	3,000

2

栽培基準達成のポイントと考え方 ～冬どり栽培の場合～

1 病虫害防除

「ちばエコ農産物」の栽培基準に適合した薬剤防除例を表2に示します。

病虫害防除では、病虫害の発生状況を観察し、防除の必要な病虫害を把握しておくことが重要です。冬どり栽培では、育苗から生育初期はネキリムシ類、ナモグリバエ、オオタバコガ、ヨトウムシ類等の害虫の活動期に当たります。一方で、収穫期に近づくにしたがって、菌核病、すそ枯病等の病害の発生が多くみられます。

表2 リーフレタス・冬どり栽培の「ちばエコ農産物」栽培基準に適合した農薬防除例

処理時期	農薬名	10a当たり使用量 (希釈倍数等)	対象病虫害	備考
10月上旬	ダコニール1000	1,000倍	すそ枯病、べと病	
	カルホス微粒剤F	6 kg/10a	ネキリムシ類	
	アクタラ粒剤5	0.5g/株	アブラムシ類、 ナモグリバエ	
10月下旬	モスピラン水溶剤	4,000倍	アブラムシ類、 アザミウマ類	発生に応じて使用
	※Zボルドー	500～800倍	腐敗病	
11月上旬	ダコニール1000	1,000倍	すそ枯病、べと病	
11月中旬	アフーム乳剤	1,000～2,000倍	ハスモンヨトウ、 オオタバコガ、 ナモグリバエ	発生に応じて使用
	トップジンM水和剤	1,500～2,000	菌核病、灰色かび病	
11月下旬	※スピノエース顆粒水和剤	2,500～5,000倍	オオタバコガ、	発生に応じて使用
		5,000倍	ヨトウムシ、	
		500～1,000倍	ハモグリバエ類	
	※Zボルドー	500～800倍	腐敗病	

注) ※印は、「ちばエコ農産物」における化学合成農薬に含めない農薬

A 育苗期、圃場準備期 ～防虫網と早めの圃場準備で耕種的防除～

●防虫網で害虫の侵入を防ぐ

防虫網を育苗ハウス開口部に被覆し、害虫の侵入を防ぎます。ただし、網目に産卵するなどした害虫が内部で増殖することもあります。また、べと病等の発生も多くみられます。育苗期から生育初期には、殺虫剤はモスピラン水溶剤等、殺菌剤はダコニール1000等の効果の幅が広い薬剤を用いて、全般的に病虫害を抑制しておきます。



▲育苗ハウス開口部の防虫網

●作付け予定の圃場は雑草を生やさない

ネキリムシ類の対策は農薬に頼るだけではなく、耕種的な防除を含めて行います。ネキリムシ類は雑草を含め極めて多くの植物を食害するため、植物があるところにはどこにでもいる可能性があります。そのため、作付け予定の圃場は定植1か月以上前から緑肥作物や雑草等を生やさないようにします。



▲ネキリムシによる被害

B 定植後 ～観察による病害虫発生の把握と過剰な農薬散布の回避～

●殺虫剤は観察に基づき、発生初期の散布を心掛ける

生育全期間を通じて害虫の発生を皆無にするほどの農薬使用は過剰防除であり、初期発生を確認してから農薬散布するという手法により、過剰な使用を防ぐことができます。薬剤散布に際しては、葉裏までしっかりと薬剤がかかるように、丁寧に散布します。

●病害対策は発生前の予防的な散布を心掛ける

べと病、すそ枯病等の病害の発生が懸念されます。病害は低密度で発生していても、多湿等の天候条件次第で多発生する場合がありますため、予防的な散布を心掛けます。

●「ちばエコ農産物」における化学合成農薬に含めない農薬を活用する

Zボルドー、スピノエース顆粒水和剤、エスマルクDF、ゼンターリ顆粒水和剤等のBT剤といった「ちばエコ農産物」における化学合成農薬に含めない農薬を活用します。

C トンネル被覆から収穫期 ～収穫物への影響を考慮した適期防除～

●オオタバコガの発生に注意する

トンネル被覆後は、農薬の散布にトンネル開閉作業が伴い、また、保温により害虫の活動が顕著になります。トンネル被覆前にオオタバコガ等のチョウ目害虫の防除を行います。

●農薬の使用に当たっては、各薬剤の収穫前使用可能日数を考慮する

例えば、ノーモルト乳剤やキノンドーフロアブルは収穫30日前まで、カスミンボルドーやトップジンM水和剤は収穫21日前までに使用します。また、レタスに登録があっても非結球レタスには登録のない農薬は多く、さらに、リーフレタスに登録があっても他の非結球レタスには登録がない農薬もあります。農薬を使用する前には、使用基準を必ず確認します。

2 施肥と土づくり

「ちばエコ農産物」栽培基準に適合した堆肥及び肥料の施用例を表3に示します。堆肥による土づくりに加えて、有機質肥料を含む肥料の施用により、「ちばエコ農産物」の栽培基準の達成が可能です。なお、表3の施肥例は主要農作物等施肥基準（平成21年、千葉県）の施肥量に準じていますが、各圃場ごとの土壌診断に基づいて施肥量を決めます。

ただし、登録名称中に「有機」などが記載された肥料でも、化学肥料由来の窒素を含んでいることが多いので、JAまたは肥料販売業者に問い合わせ、有機質由来と化学肥料由来の窒素の割合を把握しておく必要があります。

また、土づくりを怠ると、十分な生育が得られず、収量は著しく低下します（下写真）。堆肥施用等による土づくりを励行します。

表3 リーフレタス・冬どり栽培の「ちばエコ農産物」栽培基準に適合した堆肥及び肥料の施用例

作型	区分	製品名	保証成分量(%)			現物施用量 (kg/10a)	成分施用量(kg/10a)			
			窒素	りん酸	加里		窒素	りん酸	加里	
冬どり	堆肥	牛ふんもみがら堆肥				2,300				
	基肥	マイルドユーキ030号	10(5)	13	10	200	20(10)	26	20	
		苦土石灰				100				
総施用量								20(10)	26	20

注) () 内は、総窒素量のうち、化学肥料由来の窒素成分量



堆肥施用の有無によるリーフレタスの生育（左：牛ふんもみがら堆肥 2 t/10a 施用、右：堆肥無施用）

☆この「品目別栽培カード」に記載した農業・肥料使用例は、平成19年度現地実証試験時点のものです。実際の農業使用に際しては、ラベルの表示をよく確認するとともに、最新の農業使用基準を守って使用してください。
なお、栽培基準は平成20年4月改訂後のものを記載しています。

- 著 作 千葉県農林水産部担い手支援課
千葉県農林総合研究センター
- 編集・発行 千葉県農林水産部安全農業推進課
- 発行年月日 平成22年3月

■内容についての問い合わせ先
千葉県農林総合研究センター
TEL. 043(291)9987